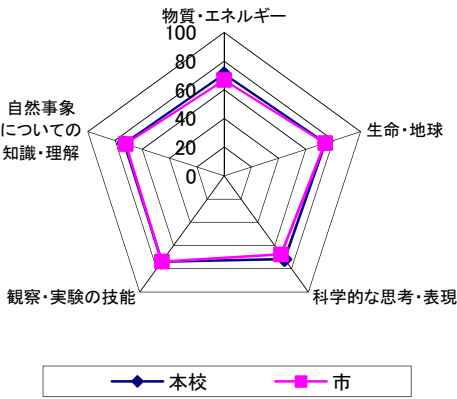


宇都宮市立宝木小学校 第6学年【理科】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	物質・エネルギー	70.9	66.8	63.6
	生命・地球	74.2	74.0	75.3
観点別	科学的な思考・表現	71.7	67.6	65.0
	観察・実験の技能	74.0	73.8	70.4
	自然事象についての知識・理解	73.2	72.1	73.4

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好なもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
物質・エネルギー	○電流の強さと電磁石のはたらきを調べるにはどのような実験を比較すればよいか指摘する問題では、正答率が70.1%と市の正答率を13.7ポイント上回っている。 ●ふりこの1往復の動きが分かったり、10往復する時間から周期を求める問題は市の正答率を0.3ポイント下回っている。 ●電磁石の性質を利用し、空き缶を集める道具を条件に合うよう修正する問題では市の正答率を0.4ポイント下回っている。	・ふりこの1往復の動きや周期の求め方、また、「ろ過」など、知識として確実に身に付けられるよう、授業の始まり等で語彙の復習をする時間を設ける。 ・体験的に理解できるように、実験では、予想を立てた上で、丁寧に記録し、結果から分かることを考察できるようにする。 ・実験からわかった性質等を応用し、生活場面で生かせるよう、知識をもとにして解決する問題を提示し、思考力が高まるようにする。
生命・地球	○植物の水の通り道を調べる実験について理解しているかの問題は、市の正答率を6.6ポイント上回っている。 ●植物の水の通り道を指摘する問題は、市の正答率を1.6ポイント下回っている。 ●生き物と空気とのかかわりに関する問題では、市の正答率を下回っている。特に、植物が二酸化炭素を取り入れて酸素を出すはたらきに関する問題や、動物が酸素を消費しても空気中から酸素が無くならない理由などについて説明する問題では市の正答率を下回っているため、理解が不十分と言える。	・実験の方法やその結果については理解しているが、そこから分かることを知識として定着させていない部分もある。したがって、実験を通して何が言えるのか、考察の仕方を丁寧に指導する。 ・植物と動物がどのようにつながっているのか、特に空気を通したつながりを全体としてとらえることができるよう、具体的に例示して理解できるようにする。